

令和 5(2023)年 4 月開校！

学 校 案 内

香川県立 小豆島みんなの支援学校



真ん中のオブジェクトは、右側が小豆島の「小」、全体でみんなの「み」という文字で構成しています。周りには、小豆島のオリーブのリースと熟した実を配し、学校や地域の人達との繋がりと子ども達の成長を表しました。また、リースの一部分を開けることで、枠にとどまらず、のびのびと自分らしく学ぶことのできる学校像を表現しています。(デザイン：カネコトシユキ 神宮千重 氏)

住所：〒761-4301 小豆郡小豆島町池田 1789 番地

【校名の由来】

島の方々の要望を受けて設置された学校であり、地域に根ざし、島の方々とともに子ども達を育てていくという基本理念から「小豆島みんなの支援学校」としました。

子どもたちや島の方々から親しみをもって呼んでもらうことのできる校名です。

(校名板 書：金子達雄 氏)

校 訓



＜校訓に込めた願い＞

- ▶「なかよく」…子どもたちが、多くの友達や地域の方々とつながり、かかわり合いながら成長してほしい。
- ▶「のびのび」…子どもたちが、笑顔いっぱい、主体的にのびのびと学んでほしい。
- ▶「かがやくこ（子・個・拠）」…子ども一人一人が、自己肯定感を育み、個性を伸ばし、自分らしく輝いてほしい。小豆島みんなの支援学校も、小豆地域の特別支援教育の拠点として輝きたい。

めざす学校像



◆子ども一人一人が、自分らしくのびのびと学べる学校

◆地域にしっかりと根ざし、地域とともに子どもを育てる学校

◆専門性を発揮し、小豆地域の特別支援教育の拠点となる学校

対象児童生徒

小豆地域（土庄町、小豆島町）在住の小学部、中学部段階の知的障害のある児童生徒が対象です。障害の状態から通学することが困難な児童生徒については、自宅や病院に訪問して教育を行います。

また、知的障害特別支援学校高等部該当で障害の状態により島外への通学が困難な生徒の学びの機会を保障する場として、「香川県立香川中部支援学校高等部分教室」を校内に設置します。

標準服及び体操服



＜小学部標準服＞



＜中学部標準服＞



＜小・中学部体操服＞

小豆島みんなの支援学校の標準服及び体操服は、子どもたちにとって着脱しやすい、動きやすい等の機能的配慮や、経済的配慮等を大切に選定しました。ジェンダーレスとしています。

学校の特徴

- ☆「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」に基づく、個々の教育的なニーズに応じた教育
- ☆生活や学びの質の向上につながる専門的な自立活動
- ☆タブレット型情報端末等、ICTを活用した教育
- ☆子ども同士の学び合いを活かした教育
 - 池田小学校との日常的な交流及び共同学習(主に小学部)
 - 居住地校との定期的な交流及び共同学習
- ☆全校縦割りグループで取り組むキャリア教育（奉仕、お手伝い活動）



各学部

【小学部】

- アセスメント（発達検査等）に基づき、発達段階に応じた教科指導を行います。
- 主体的に活動しながら生活する力を育てる生活単元学習を行います。

【中学部】

- 各教科等で学んだことを生かして、働く力を育てる作業学習や日常的な職場体験活動を行います。
- 居住地との交流を行うとともに、香川中部支援学校中学部、高等部との交流学習も行います。



時間割

<小学部一部学年>

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	体育	自立活動	体育	図画工作	体育/自立活動
3	算数/自立活動	算数	国語	図画工作	国語
4	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習	生活単元学習
			給食		
			昼休み		
			清掃		
	オリーブタイム				
5	音楽	国語/自立活動	特別活動	算数	音楽
6	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
			下校時間		

<中学部>

	月	火	水	木	金
1	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導	日常生活の指導
2	音楽	特別の教科 道徳	国語	作業学習/生活単元学習	保健体育/自立活動
3	数学/自立活動	作業学習	保健体育	作業学習	音楽
4	国語	作業学習	生活単元学習	作業学習	数学
			給食		
			昼休み		
			清掃		
	オリーブタイム				
5	職業・家庭	生活単元学習	特別活動	理科/自立活動	美術
6	職業・家庭	生活単元学習	社会/自立活動	自立活動	美術
			下校時間		

※オリーブタイムの時間を全校縦割りグループでの活動時間とし、「学校のために」「地域のために」、たくさんの人に喜んでもらえる活動を行います。

